

3歳児クラス 9月 第3回 「風の子しりとり」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保：ペープサート風の子を「(ぴゅー) こんにちはー」と風に乗るように登場させる。「ねーねー、しりとりしよう」 講：「風の子さんこんにちは、いいよ、じゃーねー…」と風の子相手に「しりとり」を始める。 保：いくつか「しりとり遊び」を繰り返したところで「またね(ぴゅー)」と風に乗って去っていく。 講：「しりとり大好きな風の子さん、今度はどこでしりとりしてるかな？ちょっと覗いてみましょうね」とお話を始める。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート (風の子) 		
読み方	<p>①お話の中で繰り返される「しりとり遊び」のやり取りを軽快に、なお且つ1つ1つの「ことば」をハッキリと語頭・語尾を強調しながら伝えていく。</p> <p>②「風の子と朴の木」「風の子とかえる」それぞれが左右に分かれて描かれ「しりとり遊び」の様子を演出している。効果的に映し出しながら読み進められると良い。</p> <p>※「しりとり」を理解させる。</p>	保育士の役割	
	<ul style="list-style-type: none"> ペープサート持って登場 子どもと一緒にストーリーや会話を楽しむ 		

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	巧緻性	線をはさみで切ってカードを切り分けることができる	
設問	しりとりカードをはさみで切って「しりとり」で繋げてみましょう			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「風の子さん、朴の木さんやカエルさん相手にしりとりしてたね」 保：「(ぴゅー) こんにちは」としりとりカードを持って再び風の子のペープサートで登場。 			教材
	<ul style="list-style-type: none"> 講：「風の子さんこんにちは。またしりとりするの？」 保：「今日はみんなにプレゼント！」とカードを提示。「これを使ってしりとりできるかな？考えてね。じゃねー(ぴゅー)」とカードを置いて去って行く。 講：「風の子さん忙しいみたいね。プレゼントのこのカード、しりとりで繋がるかな？みんなで作ってみたいよ」とカード配布。子ども達の手元に届いたところでカードの左(子ども達と指をさして確認)から名称確認する。 子：講師と一緒に声を出して名称確認(こま・ツバメ・カメレオン)。しりとりでカードが並んでいないことを確認する。 講：「このままだとしりとりで繋がらないね？」と問いかけ、切って並べ替える方法を子ども達から引き出していく。はさみを提示。一連のはさみの使い方(指の入れ方・脇を閉めて身体の正面で構える・グーパー(はさみの開閉)の動きの確認)を確認後、はさみで切る見本(線の上を切る)を見せる。「みんなのカードもバラバラにして並べ替えてみようか？」と意欲を引き出し、はさみを配布する。 子：はさみを使ってカードを切り離し、並べ替えてみる。 ※子ども達が切り終えたら、はさみは速やかに回収する。 講：子ども達と一緒にしりとりでカードが繋がるか確認し、このまま<活動②>へと進む。 			しりとりカード3種 (弱両面テープ付き) 提示用しりとりカード ★はさみ 保育士の役割
活動内容				<ul style="list-style-type: none"> ペープサート風の子でしりとりカード提示 しりとりカード配布 はさみ配布 はさみの指導、フオークー はさみの回収
活動②	ねらい	ことば	しりとりを理解してカードを繋げることができる	
設問	しりとり列車にしりとりカードを貼って列車を完成させましょう			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「変だね。やっぱりしりとり繋がらないね…」 保：「ガタンガタン…」とプリント(ボードなどに固定)の列車走らせながら登場。(車掌帽子被るとなお良い) 「えきーえきー。風の子さんから頼まれて来ました。しりとり列車を完成させてみて下さい。ではよろしく」とプリントを手渡し去って行く。 			教材
	<ul style="list-style-type: none"> 講：「あれ？しりとり列車？前にも来たね(9月1回の授業を思い出す)。今日の 			P1 提示用プリント 活動①で切ったしりとりカード

<p>列車は長いけど、もう乗っている車両と空いている車両があるね…」と子ども達のことばを引き出しながら、一番左の「風の子」から名称を確認。バラバラにした3枚のカードを入れながら列車を完成させる見本を見せる(風の子→こま→満月→ツバメ→メダカ→カメレオン、最後は「ン」で終わり、これ以上つながらないことにも触れておくこと)</p> <p>「みんなも完成させてみようか?できるかな、頑張れる人!はーい!」再び子ども達の意欲を引き出しプリントを配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子:プリントを受け取り、ひとつひとつの名称を声に出して確認しながらカードを並べていく。(シールのゴミは皿の中) 講保:まずは見守る。並べ替えに戸惑う子には一緒に声に出し、語尾・語頭を確認しながら自分で気付いて並べることができるようにフォローする。 講:全員が貼り終えたところで完成した列車を見せ合いっこ。左から再度名称を声に出して確認し、完成を称賛。皆で列車を走らせてみる。最後に「列車は無事車庫に帰ります。またねー」と回収(又は半分に折って)して終了する。 	皿(シールごみ用)
	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 車掌になってプリント提示 プリント配布 しりとりを理解できない子のフォロー エレビ演奏 プリント回収

数子ヤレ	数	「合わせていくつ?」を理解して「4個」の数の操作に答えることができる。	教材
設問	こっちとこっち 合わせていくつ?(4個の操作)		おはじき 皿
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 「4個」のおはじきを2枚の皿(又は左右の掌)に1:3・2:2など分けて準備。2枚の皿を見せ「こっちとこっち、合わせていくつ?」と聞いてみる。9月の繰り返し活動です。個々に左右の数を変えて行う。 すぐに答えられない子には「数えてみよう」と一緒に数え、「いくつあった?」と確認する。 「合わせていくつ?」の意味を知ることもポイントです。 		<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 2枚の皿を提示 「合わせていくつ?」と設問。必要に応じて一緒に数える

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	子ども達と声を出して言いながら、しりとりルールを理解させることを意識しながら読んだか
活動① 巧緻性	はさみの使い方指導をきちんと行ったか
活動② ことば	しりとり理解が個別に出来ているか確認したか
数子ヤレ	「合わせていくつ」の意味を理解出来るように指導したか

楽習タイム♪

*** テーマ・ことば ***

しりとりあそび

<遊び方>

- りんご→ごりら→らっこ→こあら→ランドセル…と言った場合に最初の人言ったことばの最後の音(語尾)から始まることばを次の人が言う遊び。
- 二人から何人でもできる遊びです。
※一度使ったことばは使えません。
※最後に「ん」を付けた人は「アウト」又は遊びが終了となります。

しりとり遊びは語彙を増やすのはもちろん、人との掛け合いから想像力も広がり、無限の楽しさを味わってくれます。

今月のえかきリズム

*** ライオン ***

えかきリズムの動画はこちら

楽習タイムの動画はこちら